

宮城県林業普及活動情報

2012. 2 月号 No.45

平成23年3月11日の東日本大震災で
被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

もくじ

各地の林業普及活動情報

P2 ~ 9

- 「安全で適切な間伐作業の実施に向けて林業労働災害防止講習会を開催」
(大河原地方振興事務所)
- 「就労環境の改善と担い手の確保を目指し」
(大河原地方振興事務所)
- 「原木シイタケ生産管理指導」
(大河原地方振興事務所)
- 「共有林で施業推進を！」
(仙台地方振興事務所)
- 「瑞巖寺境内杉並木の再生に向けて！」
(仙台地方振興事務所)
- 「公共建築物へ県産材の利用を！」
(仙台地方振興事務所)
- 「原木しいたけの放射能対策を徹底！」
(仙台地方振興事務所)
- 「園芸施設へ木質バイオマスボイラーを！」
(仙台地方振興事務所)
- 「鬼首山の子探検隊への活動支援準備」
(北部地方振興事務所)
- 「安心・安全なしいたけ生産を目指して！」
(北部地方振興事務所)
- 「森林組合の体制強化を目指して！」
(北部地方振興事務所)
- 「乾燥キノコセットが決まりました！」
(栗原地域事務所)
- 「新しい市町村森林整備計画に向けて」
(東部地方振興事務所)
- 「南三陸町災害公営住宅建設事業支援」
(登米地域事務所)
- 「第2回森林のあり方検討プロジェクト会議を開催第」
(気仙沼地方振興事務所)
- 「第4回林業基礎講座(木材の生産) 第5回林業基礎講座(森林・林業の制度・事業)を開催」
(気仙沼地方振興事務所)
- 「森林組合理事会において森林経営計画について説明」
(気仙沼地方振興事務所)
- 「県林研連総会及び研修会の開催」
(林業技術総合センター)
- 「林業就業・雇用講習会」への支援
(林業技術総合センター)

「安全で適切な間伐作業の実施に向けて林業労働災害防止講習会を開催」

大河原地方振興事務所

今年度から「みやぎ環境税」により若齢林における間伐事業が実施されており、伐倒作業に従事する機会の増加が見込まれることから、労働災害の防止と伐木技術の向上を図るため、事務所主催により平成24年2月2日(木)に白石市において林業労働災害防止講習会を開催しました。

講習会では、白石市福岡深谷の私有林において、若齢林での間伐木の選木方法や切捨間伐における伐採時の注意点やかかり木処理の方法等について実技指導を行うとともに、白石市林業総合センターにおいて、労働災害の発生状況やチェーンソーのメンテナンスについて講義を行いました。

当日は雪の降る中、管内の森林組合や林業事業体から職員や作業班員など26名が受講し、安易な行動が災害に繋がることから、常に基本動作の徹底を図ることが重要であることを理解してもらいました。



現地で実技指導を受ける参加者



林災防吉田氏による室内講義

「就労環境の改善と担い手の確保を目指し」

大河原地方振興事務所

川崎町の林業事業体において、就労環境の改善と担い手の確保を図るため、林業労働力の確保の促進に関する法律に基づく改善計画の認定を受けることとなったことから、計画の内容や優遇措置等について説明し、今年度末までの認定を目指して計画を策定することになりました。

管内では森林組合等の8事業体が改善計画の認定を受けており、担い手の確保が図られ林業の活性化に繋がることを期待します。



計画の記載方法を説明する普及員

「原木シイタケ生産管理指導」

大河原地方振興事務所

原発事故に伴う放射性物質検査対応として、原木シイタケ生産者の栽培管理等の実態を調査するとともに、栽培者のニーズ把握に努めております。

栽培者の多くは、原木が入手が困難なことや、汚染されたホダ木の処分が出来ないため、今年度は植菌を見送るとのことでした。

栽培の見通しが立たない現状にあって、生産者からは、栽培に向けた除染作業や原木の取扱を含めた栽培管理方法等の対策について、相談要請を受けているため、除染作業等の実証試験を行い、情報の提供に努めていくこととしております。



ホダ場の管理状況を記録

「共有林で施業推進を！」

～【名取市林業振興事業推進協議会の開催】～

仙台地方振興事務所

名取市内の共有林団体で組織する名取市林業振興事業推進協議会の研修会が2月29日(木)に開催され、計画的な森林整備や路網整備の推進、施業の集約化に向けた各種補助事業制度について説明を行いました。

その結果、集約化施業の必要性について参加者の理解が得られたほか、共有林の整備にあたって現地指導を依頼されました。



【研修会席上での説明】

「瑞巖寺境内杉並木の再生に向けて！」

～【被害調査結果を報告】～

仙台地方振興事務所

震災による津波被害を受けた国宝「瑞巖寺」の杉並木再生に向けて、県林業技術総合センターの協力のもとに実施した被害調査結果について、松島町等の関係機関に対して2月23日(木)に報告を行いました。

地盤沈下による地下水位の上昇や、過度の環境管理など立木の生育環境の変化により、枯損拡大が想定されることを報告し、今後は、より専門的な機関と連携して並木再生を検討することとなりました。



【調査地にて状況説明】

「公共建築物へ県産材の利用を！」

～県産材利用促進巡回指導～

仙台地方振興事務所

平成22年に制定された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、市町村における公共建築物への木材利用に関する方針が策定できることとなり、管内市町村に対して1月20,24日に策定に向けた打合せを行いました。

公共建築物への木材利用は、木の効能と癒しの空間を提供するだけでなく、森林整備の促進や、地域産業の活性化にも繋がることなどを説明し、積極的に木材を利用する仕組みづくりにも取り組むよう市町村の理解を求めました。



【大和町との打合せ】

「原木しいたけの放射能対策を徹底！」

～【生産者研修会の開催】～

仙台地方振興事務所

仙台農協椎茸生産組合の生産者を対象にした放射性対策研修会が2月8日(水)にJA仙台根白石支店を会場に開催されました。

県が実施している放射線測定のモニタリング検査結果について周知するとともに、今後の検査体制や、賠償請求に関する支援などの情報提供を行いました。

参加者からは、今後も適確な情報の提供や賠償請求に係る手続き方法等について引き続き指導願いたいと要望がありました。



【不安を募らせる生産者ら】

「園芸施設へ木質バイオマスボイラーを！」

～【先進事例調査を実施】～

仙台地方振興事務所

山元町では、震災復興の一環として園芸施設への木質バイオマスボイラー導入の有効性の検討を進めており、管内における先進地事例視察の依頼を受け、大衡村でトマト栽培に導入している事業体を紹介し、2月28日(火)に町長と担当課長を現地案内しました。

当日は、木質バイオマス原材料を供給している関係者も同行し、見聞を深めながら施設導入にあたっての長・短所を理解することができ、今後の検討に示唆を与える視察となりました。



【現地事務所で施設の状況を聞き入る】

**「鬼首山の子探検隊への活動支援準備」
～冬の森にでかけよう！準備はおまかせ～**

北部地方振興事務所

大崎市鳴子鬼首地区公民館が主催する「第11回鬼首山の子探検隊」の活動を3月17日（土）に予定しているため、カリキュラムの最終打合わせを行いました。一面真っ白な雪で覆われた銀世界での活動となることが予想されるため、関係者が集まり、慎重に準備を行いました。

当日は、「冬の森にでかけよう」をテーマに開催を計画しており、楓のしずく採りや氷と塩で作る手作りアイスクリーム、スノーシューやかんじきで歩く「冬の森林散策」など盛りだくさんの内容となっています。



「かんじき」歩きも追加しては・・・



楓の樹液採取ボトル設置完了



手作りアイスのお味は？

「安心・安全なしいたけ生産を目指して！」

～しいたけ生産者団体の総会で放射能の情報提供～

北部地方振興事務所

2月12日、15日加美町のしいたけ生産者団体の総会に出席し、特用林産物に係る放射能調査の状況について説明しました。

加美町では、現在まで暫定規制値を超過するようなしいたけは確認されていませんが、県内でも出荷制限が出始めたり、4月以降、放射性セシウムの基準値が5分の1の100 μ クレル/kgに引き下げられるなど、生産者の皆さんは不安を感じているようでした。

今後、春子の放射能検査を実施し、安心して販売したいとのことでした。



活発な意見交換が行われた総会

「森林組合の体制強化を目指して！」

～森林組合青年部が研修会を開催～

北部地方振興事務所

2月3日(金)に大崎市鳴子において、昨今の森林・林業を取り巻く情勢が大きく変化する中で、大崎地域の森林・林業を考えるとともに森林組合のあり方を検討するため、「大崎森林組合青年部研修会」が開催され、部員等12名の参加がありました。

開催に当たっては、本事務所に講師の要請があり、林業振興部長及び林業普及指導員が出席し、「大崎地域の林業情勢」や「林業補助金制度」等について講義と意見交換を行いました。

参加者からは、組合の経営強化に向けて間伐等の事業推進を図る必要性からも各事業の制度概要や関連する計画制度(集約化)について十分に理解を深め、青年部から組合に対し種々の意見を発信すべきとする声が寄せられ、熱心な意見交換が行われました。

今後、森林所有者の協同組織としての意識を高め、地域の森林・林業の推進する積極的な取組みを期待します。



地域の活性化に向け傾聴する参加者

乾燥キノコセットが決まりました！

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

2月1日、キノコ生産者3者で進めている、乾燥キノコ3種（シイタケ・ナメコ・マイタケ）のセット商品化に向けた取り組みで、価格や彩りを検討した結果、セットに組み入れる商品の種類が決まりました。

今後は、消費者に受け入れられる商品名の決定が難しく、今後とパッケージデザインを決定すべく協議を重ねてまいります。



もうすぐ市場にお目見えします

「新しい市町村森林整備計画に向けて」

- 市町村森林整備計画に係る説明会の開催 -
東部地方振興事務所

市町村が伐採、造林、保育などの森林の整備に関する基本的な事項等を定める「市町村森林整備計画」は、森林法改正に伴い全国一斉に計画変更を行うこととされています。

この変更に係る手続きの一環として、東部地方振興事務所管内の3市町は、2月7日（火）に説明会を開催し、宮城県指導林家、石巻地区森林組合等からの変更計画（案）に対する意見を聞きました。

出席した森林組合などからは、森林整備への住民参加の促進、林内路網の整備、山林の境界明確化への支援策等について多くの意見が出されました。今後、市町では、これらの意見を森林・林業施策に反映し、林業の振興を図っていくこととしています。



専門家から計画書に対して多くの意見が出される

「南三陸町災害公営住宅建設事業支援」

東部地方振興事務所登米地域事務所

当事務所では、南三陸町における災害公営住宅を地域材を活用して建設するため、森林組合等の地元企業連携による建築体制の整備と建設内容の提案等の事業化について、各種の支援を実施しています。

南三陸森林組合等にて6回開催された打合せ会では、災害公営住宅推進体制について理解が得られ、その方針書において、地元材を使用し地元企業連携による建設が明記されることが決定されました。

今後も実施プランの具体化についての検討等についても、アドバイス等の支援を続けていくこととしています。



打合せ会（南三陸町森林組合）

「第2回森林のあり方検討プロジェクト会議を開催」

気仙沼地方振興事務所

平成24年2月7日に、気仙沼・本吉地域の農林業・農山村の発展に向けた具体的事項の検討・実践の場として設立された「森林のありかた検討プロジェクト」の第2回会議を開催しました。

会議では、プロジェクトのメンバーである市町・森林組合職員7名に、森林機能区分により色分けした森林計画図等を使用して、市町村森林整備計画・森林経営計画等について説明しました。

参加者は真剣に説明を聞くとともに、活発な質疑応答が行われ、充実した会議となりました。



プロジェクト会議の状況

「第4回林業基礎講座（木材の生産） 第5回林業基礎講座（森林・林業の 制度・事業）を開催」

気仙沼地方振興事務所

業務経験の少ない市町・森林組合職員に森林・林業に関する基礎知識を習得してもらうため、2月9日・23日に気仙沼市森林組合で林業基礎講座を開催しました。

9日は伐木・造材の作業システムや安全作業、作業道開設等について、23日は森林計画制度や保安林制度・森林環境保全直接支援事業等について研修を行いました。

研修生7名は熱心に説明を聞き、森林・林業に関する知識を身につけました。



林業基礎講座の状況

「森林組合理事会において森林経営計画について説明」

気仙沼地方振興事務所

森林経営計画の円滑な策定を進めるため、平成24年2月24日に開催された南三陸町森林組合理事会において、計画の具体的内容や森林施業計画との相違、森林環境保全直接支援事業との関係等について、資料とスライドを使って説明しました。

12名の理事にとって森林経営計画の理解を深める貴重な機会となるとともに、計画策定を推進するための一助となりました。



森林経営計画の説明を聞く森林組合理事

「県林研連総会及び研修会の開催」
林業技術総合センター 普及指導チーム

県内14の林業研究グループで組織している「宮城県林業研究会連絡協議会」の通常総会が2月9日に開催されました。

総会に先立ち開催された「高校生等に対する林業経営・就業体験等事業実施報告会及び森林・林業施策研修会」では、事業に取り組んだ林研グループから、森林・林業に接する機会の提供によって、その理解が深まり、地域との交流、連携にも効果的であると報告され、林研グループ活動を計画するうえで、大変参考になりました。林業施策情報として、県林業振興課からは、震災復興プラン、森林経営計画について説明がありました。

引き続き、第56回通常総会が開催され、6議案を審議し、異議なく承認されました。平成24年度は、震災復興事業に取り組むほか、単位林研同士が支援し合い、全体の活性化を図る新たな事業を実施することが決定しました。このため、活力ある県林研連運営へに向け、会員の協力を呼びかけました。



議案説明を聞く出席会員

「林業就業・雇用講習会」への支援
林業技術総合センター 普及指導チーム

新規に林業へ就労を希望する方を対象とした本年度第2回目の林業就業・雇用講習会が県などの主催により2月22日に開催され、これを支援しました。

28名の受講生に、森林・林業の基礎知識を学んでもらったり、林業機械の操作体験等を行ってもらい、就業後をイメージしてもらいましたが、震災により雇用情勢が悪化していることもあり、受講生からは、事業体の具体的な採用予定数を問われるなど、切実な状況にあることを実感しました。

今後、この講習により就業の意向が固まった方は、次のステップである就業支援講習に進んで頂きますが、多くの方々が受講され、林業の扉を開かれることを期待します。

【活動状況写真等】



受講生の林業機械操作体験